

ろうさい ニュース

— 今月のトピックス —

「第13回
浜松 EAST 医療連携セミナー」
を開催しました。

「第14回
浜松 EAST 医療連携セミナー」
を延期します。

浜松労災病院 地域医療連携広報紙 第366号 平成27年2月号

■ 当院整形外科の紹介

副院長 河本 正昭（整形外科部長）

今回は整形外科の紹介です。1名休職中であり小生を含めて4名のスタッフで外来2診と2名の手術支援医師とともに月60件強の手術を行っております。日頃の病診連携関連で気づいたことと当科の最近の手術の傾向について述べます。

〈病診連携に関すること〉

4名でやっておりますと午前中は外来2名手術2名で、何かの時に動ける医師がいなくなります。病棟で急変患者が出た場合は外来医師が対処しなければなりません。手術優先に考えておりますので午後からは外来を早々に切り上げるよう努力しております。並列で手術を行う場合は4名とも手術室です。その場合整形外科の救急受け入れを止めます。しかし整形外科の疾患で一刻を争うものは稀です。他科の疾患のように golden time が2・3時間というものはありません。何か処置が必要と判断される場合は手術中でも連絡頂ければ可能な限り対応します。

また、手術しない患者はできるだけ近隣整形外科開業医院に紹介するように心がけております。紹介元にいったん返すべきではありますが、整形外科以外であれば整形外科の専門的なりハビリや注射治療を要する症例を返されても患者ともども途方に暮れかねません。この辺りは適宜判断させていただきます。

周知のごとく、MRI、CTは地域医療連携室経由で予約できます。読影もついてきます。当科受診患者でMRI必要な場合は予約を入れることとなります。来院されたその日以降となります。しかし来られたその日にMRIを実施するものと思込んでいる方がおられます。放射線部との取り決めで脊髄損傷や急激な麻痺を生じてきた症例のみ緊急MRIの対象としております。貴重な資源を他の科と共に有効に使いまわすためです。お陰様で予約待ちは1週間もない状態です。改めてご周知お願いします。MRIは手軽に悪性疾患や炎症の病巣を明らかにしてくれます。靭帯損傷などの軟部の評価には絶対必要です。しかし腰部脊柱管狭窄症や頸椎症などの変性疾患については手術を考慮するほど症状が進んでいて本人も保存治療のままではよいのかどうか不安に思っている場合に初めて役に立つものと考えます。心配なだけ、という患者に対しては病診連携でMRIを撮って読影結果を見て本人と相談して病院を受診するかどうか判断していただければ幸いです。

〈手術について〉

脊椎領域で instrumentation による内固定は必須の手技です。頸椎3-6は自重してLMSとしておりますが、他レベルではPSを使用します。仙椎の anchoring 手技もいろいろ工





夫しております。人工関節はいまだ Charnley が gold standard です。しかし、材料の進歩により大骨頭使用が可能になるなど以前よりストライクゾーンが広がった感があります。

revision を扱う機会が増えてきました。こちらの device 類もいろいろ便利になってきました。高位脱臼に対する短縮骨切り人工関節のような technical demanding な症例は大学から応援を頼んでおります。外傷領域では Locking plate で骨幹端の治療成績が安定してきましたが、さらにロッキング機構付の横止め髓内釘の登場により治療の幅が広がってきました。材料にしても考え方にしても常に新しいものが次々に登場します。すぐに欠陥が露呈して退場するものも数多く目にしてきました。したがって整形外科医にとっては知識や哲学が重要と考えております。以前は重度の手の新鮮外傷を精力的に手掛けていましたが先ほど述べた事情により重症例に対応できる機会は減っており忸怩たる思いです。

高度かつ先進的な医療をおこなっているわけではありませんが、一般病院として許される範囲の手術には積極的に取り組んでいきます。今後ともご指導ご鞭撻お願い申し上げます。

■ 第 13 回浜松 EAST 医療連携セミナーを開催しました



千葉 勉 先生

今回は、特別講演の講師として、京都大学大学院医学研究科消化器内科学教授 千葉 勉 先生をお迎えし、平成 27 年 1 月 28 日、オークラクトシティホテル浜松「平安の間」にて開催いたしました

千葉先生の選ばれたテーマは「消化器疾患と遺伝子」。

一見、日常診療とは程遠いように見える遺伝子。

千葉先生は、これまで縁遠かったとされる、難病と呼ばれる疾病同士の遺伝子によるつながりや、俗説としてスタンダードとされていた疾病が、遺伝子の特質により説明ができることなどを話されました。

さらには、日常診療に密接に関わる家族歴と遺伝子疾患とのかかわりに至るまで、踏み込んだお話をさせていただきました。



滝浪 實 先生

当日は総勢 90 名の皆様にご参集いただきました。

誠にありがとうございました。



なお、前号でお知らせしました 3 月に予定しておりました第 14 回浜松 EAST 医療連携セミナーにつきまして、都合により延期させていただきます。詳細が決まり次第ご案内を差し上げます。

■ 講演会のお知らせ

平成 27 年 3 月 13 日（金） 19:00～21:00 当院 6 階大会議室にて浜松地区地域連携漢方講演会を開催します。

講師に北海道から静内病院院長の井齋 偉矢先生をお迎えします。「漢方薬の基本的性質：速効性」をテーマにご講演をいただく予定です。また、日本医師会生涯教育履修単位（1.5 単位）を申請予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

■平成26年度病病・病診連携サービス実態調査における先生方からのご要望・ご提案の改善報告について

病病・病診連携サービス実態調査におきまして、先生方からのご要望・ご提案につきまして、院長を中心とし院内で検討しました改善結果を前回に引き続きご報告させていただきます。

- 1 2. 少し遠方であり一般外来には患者さんが希望した場合、年に一人か二人しか紹介していません。貴院が当番の時に時間外の救急外来を利用しているくらいなのであまりわかりません。
(回答) 当院の救急外来へご紹介いただきありがとうございます。当院が貴院の診療の一助となれば幸いです。
- 1 3. 在宅カンファレンスの場合、当日や翌日など退院間近でのケースが多いように思います。
(回答) 円滑な退院調整のため、受け入れ側のことも念頭に置きつつ、時間的な余裕をもってカンファレンスを行うよう関係者へ指導いたします。
- 1 4. 救急患者等の受け入れを有難うございます。貴院から受診を断られたケースは一回もありません。大変なご尽力に御礼申し上げます。
(回答) 「断らない救急」を目指している当院にとって、うれしいお言葉です。今後とも継続してまいりたく存じます。
- 1 5. 時間外に電話対応する男性職員、時間外出入口の男性職員の患者さんに対する態度言葉使いなどが横柄で感じ悪いという感想を当院の患者さんから時々聞きます。連携システムに関してはうまく運用されており満足しております。
(回答) ご忠告真挚に受け止めさせていただきます。貴院の患者さんに対し、不快な思いをさせてしまいましたこととお詫び申し上げます。早速事務等当直者、守衛に対し指導いたしました。今後も引き続きご指導下さい。
- 1 6. 遠方のためここ一年間で紹介した患者はおりませんが、セミナー出席は勉強になりありがたいです
(回答) どうもありがとうございます。有意義なセミナーを開催したく存じます。
- 1 7. いつもお世話になっています。満足しています。
(回答) どうもありがとうございます。病院の使命を自覚して努力を重ねたいと存じます。
- 1 8. 常日頃時間外の緊急患者さんをこころよくお引き受けくださり感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。
(回答) うれしいお言葉です。今後もやり抜いて参ります。
- 1 9. MRI 造影検査のみの予約の場合も単純検査の時と同様で直接検査の予約ができると、患者さんへの負担は軽減されます。他病院は造影検査であっても検査のみ予約ができます。
(回答) 造影MRIに関しましては、当院としても課題として認識しております。院内の運用上の制約(医師の立会)の観点から、直接の造影MRI予約を受け入れられていない状況です。院内の体制が整いましたら周知させていただきます。今後、CT, MRIの造影を希望される場合につきましては、一旦、各診療科医師あてご紹介いただければと存じます。
- 2 0. 患者さんの希望で紹介させていただいていますが極めて適切な対応と考えています。今後ともよろしく願います。
(回答) どうもありがとうございます。問題点がございましたら、連携室などに申しつけて下さい。
- 2 1. 以前より格段によくなっていると思います。予約がとりやすくなりました。
(回答) 紹介予約等の対応については、日頃より気にかけている部分であります。今回うれしいお言葉をいただき非常に喜ばしく思う所存です。引き続きご期待に沿えるよう尽力して参ります。
- 2 2. CTをとった即日に画像をCDにして渡してもらいたいです。
(回答) ご指摘ありがとうございます。依頼書が「即現」とあるものはもとより、チェックのないものも依頼内容にて判断するよう改善をさせていただきました。今後急ぎ情報をお渡しできるよう努めて参ります。

23. 連携とは作るものではなく目の前の事態に真摯に取り組めば自ずとなり成り立つものと心得ます。

(回答) ご指摘ありがとうございます。日々頂戴したご意見、問題点、課題に対して、さらに真摯に対応し、改善して参ります。

24. 現在の小児科担当医は開業されるようですが、今後小児の受け入れ体制はどうなるのか知りたい。又、常勤小児科医何人になるのでしょうか。現在の1人体制では申し訳なくて紹介できない。病診連携で上記の内容を教えてくれるのでしょうか。

連携室の対応が非常にスムーズで感謝しております。有難うございます。非常に紹介しやすく助かっています。

(回答) 小児科常勤医については、異動に伴い2月・3月は不在となりますが、4月に常勤医が1名着任し再開させていただきます。次月以降のろうさいニュースにて、医師のご紹介をさせていただきます。

25. 骨折の方で入院、手術をお願いした時に、年齢・性別・住所・受信歴を聞かれた後に医師に聞いてみますと言われました。その結果が満床ですので他の病院へという答えでした。

満床で受け入れできないのなら事務の方の段階でそうやって頂ければと思いました。

(回答) 大変申し訳ございませんでした。院内の連携が悪かったことも一因と思います。今後改善に努めます。

26. 転科後、情報が途絶えてしまいます。最終報告として最終担当科からお返事を頂きたいと思えます。

(回答) 大変申し訳ございませんでした。転科後に紹介元への返信をするよう指導しました。医師各位、地域連携室の返書確認について、今後徹底して参ります。

27. 情報提供には少なくとも処方内容の記載はしていただきたいと思えます。検査結果、特に画像診断の結果を添付して頂けると助かります。

(回答) 今後、可能な限り情報を提供するよう周知いたします。

28. 入院診療録の記載がされていないことが目立ちます。研修医の為にも1号紙の記入や、プログラムリスト、ショートサマリーなどは、きちんと記載をしておく方がよいと思えます。

(回答) 診療録の記載は、医師の基本的な業務と考えております。必ずや改善をさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。

29. 患者さんからは主治医とお話しがなかなかできないと伺います。お時間が取れないと思えますが、不安に思っている方もみえますのでよろしくお願ひします。

(回答) 患者さんに対する病状などの説明は、優先順位の高い医師の責務です。忙しいことはい訳にならないと思えます。誠に申し訳ございませんでした。

30. 転院や死亡後のお返事がいただけないことが見られます。亡くなった方のご家族がお見えになっていることがあるので、後日でもよいのでいただければと思えます。

上記は、病院全体ではなく担当科によって差があります。きちんとやっておられる担当科がほとんどですが、一部こうした残念な対応がみられます。

(回答) 大変申し訳ございません。

転医や死亡後についてもしっかりとご報告申し上げるよう留意いたします。紹介やお返事の文書については、書き手の思いが伝わるよう、1枚1枚を大切に作成するよう指導して参ります。

31. 連携セミナーの際、講師が不機嫌そうにお話をされることがありますが、お忙しいのであれば間隔を空けてはいかがでしょうか。

(回答) 忙しいということは決して理由になりません。大変失礼しました。

32. 院長先生のご指導で、急患受け入れは他の市中病院に勝る対応ができていると思えます。

今後とも御指導御鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

(回答) 地域医療支援病院の根幹と考えております。誠にありがとうございました。